

あいさつと笑顔がつくる
明るい未来

あいさつ運動(万世小)

米沢市市民憲章 (昭和37年10月26日制定)

前文

私たちは、伝統にかがやく米沢市の市民であることにほこりと責任を感じ、この憲章をかかげて教育文化のまち、産業のまち、福祉のまち、観光のまちとして、公德心の高い、よりよい社会をつくることにつとめます。

- 一、教養をたかめ、文化のまちをつくりましょう。
- 一、勤労をたつとび、豊かなまちをつくりましょう。
- 一、互いに助けあい、楽しいまちをつくりましょう。
- 一、きまりを守り、公共物を愛し、明るいまちをつくりましょう。
- 一、郷土を愛し、きれいなまちをつくりましょう。

「みんな仲良く協力しあう万世小」をスローガンに、活動に取り組んできました。その中でも特に頑張ってきた活動を四つ紹介します。

「みんな仲良く協力しあう万世小」をスローガンに、活動に取り組んできました。その中でも特に頑張ってきた活動を四つ紹介します。

一つ目は、「あいさつ運動」です。一つ目は、「あいさつ運動」です。一つ目は、「あいさつ運動」です。

一つ目は、「あいさつ運動」です。一つ目は、「あいさつ運動」です。一つ目は、「あいさつ運動」です。

二つ目は、「親切運動」です。二つ目は、「親切運動」です。二つ目は、「親切運動」です。

二つ目は、「観音堂清掃」です。二つ目は、「観音堂清掃」です。二つ目は、「観音堂清掃」です。

三つ目は、「チャレンジウォークラリー」です。三つ目は、「チャレンジウォークラリー」です。三つ目は、「チャレンジウォークラリー」です。

三つ目は、「りんご学習」です。三つ目は、「りんご学習」です。三つ目は、「りんご学習」です。

四つ目は、「プランターの花植え」です。四つ目は、「プランターの花植え」です。四つ目は、「プランターの花植え」です。

四つ目は、「地域とのつながり」です。四つ目は、「地域とのつながり」です。四つ目は、「地域とのつながり」です。

問い合わせ/秘書広報課 広報広聴係 ☎(22) 51111

地域とのつながりを大切に

昭和37年、市民の意見をもとに米沢市市民憲章が制定されました。市民憲章は、市民生活の道しるべであり、人と人とを結ぶ架け橋です。「あいさつをする」「相手の気持ちになって行動する」などの日常生活での市民憲章の実践が明るく豊かなまちづくりにつながります。11月7日(土)に開催された市民憲章推進大会から実践活動の一部を紹介します。



は不安もありましたが、興譲小のみんなはもちろん、中部地区も温かい地域だと気づくことができました。

これからも、大好きな広幡地区、米沢市がますます住みよい地域となるよう、児童会活動を続けていき、少しでも地域の方々に恩返しをしていきたいです。

米沢二中の取り組み

第二中 五賀雄大さん

今年度は「CANVAS」個性で彩る二中」をスローガンとして活動しています。学校が五月下旬よりスタートし、数か月前までは想像もしていなかったこの状況をどう乗り越えていくかを考え、二つの重点目標を設定し、活動しています。

一つ目は、「時間行動」です。時間を意識して行動するために「授業態度向上週間」という活動を行っています。限られた時間の中で、幅広い教養を身につけることができるのではないかと考えました。

二つ目は、「思いやり」です。あいさつあふれる学校を目指して「あいさつ運動」と、縦割りのクラスに向けて、感謝の気持ちやエールを書いたカードを送る「ありがとうカード」という取り組みを行っています。コロナ禍で面と向かって伝えられない感謝の気持ちをカードで伝え、つながりを強化できたいと思います。

まだまだ終息には遠いですが、二中

生一丸となって、二中、そして米沢の明るい未来に向けて頑張っていきたいと思えます。

地域に貢献し続ける

米東生であるために

米沢東高校 五十嵐彩さん

私たちは、「修誠」を校訓として「美しい品性」「高い知性」「篤い至誠」の三つの精神を心がけ、学習や部活動はもちろん、ボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。

最近行ったボランティア活動としてくす玉作りがあります。新型コロナウイルス感染症で影響が及んだたくさんの方に元氣と勇気を届けたいと思い、「米東元氣玉」として差し上げることになりました。パーツは全校生徒で制作しました。

文化祭では「輝き」をテーマに黒板アートに取り組み、作品をポストカードにしてお配りしました。

生活委員会の朝のあいさつ運動・マナーアップ運動、ボランティアーズの周辺美化活動やペットボトルのキャップ回収、食物部の「フードドライブ」活動など様々な活動を通じて地域に貢献し続けたいと思っています。

今年度後期のスローガンは「Step to the future、今を大切に」です。

コロナ禍でも様々な活動にチャレンジし、地域に誇れる米東生になれるよう努めていきたいです。

米沢びしゃもんプロジェクトについて

鈴木ルーフ 代表 鈴木鉄也さん

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的にはじまった外出制限や飲食店等の営業自粛は市内経済に大きな影響を落としました。

そんな中、市内の若手経営者が多く所属する米沢商工会議所青年部と米沢青年会議所が協力して立ち上げたのがこのプロジェクトで、「感染症対策と

経済振興の両立」がこのプロジェクトの根幹です。

「かねたん」扮する応援キャラクター「ビシヤモン」の人気を背景に、LINEスタンプやオリジナルマスクを発売し、売り上げの一部は米沢市の感染症対策や、医療従事者への寄附に充てられることとなっています。

また、米沢市奨励感染症対策事業にも設定していただき、現在250件を超える市内の店舗で取り組んでいただいておりますが、事業自体の認知度が低いことが課題です。

これからはインフルエンザも流行し始める時期です。日頃からの身近な感染症対策でどちらにもかからないようご愛ください。

活動発表全文は、「市民憲章よねざわ32号」に掲載します。市ホームページ、各学校、「コミセン」にありますので、ぜひご覧ください。



観音堂清掃 (広幡小)



ありがとうカード (第二中)



米東元氣玉の贈呈 (米沢東高校)



「米沢びしゃもんプロジェクト」記者発表